

論文審査会、続々と ...

The Thesis Defense was Held in Sequence -The MPS Students and Doctoral Student-

前号でご報告した修士論文審査会に先立ち、2月1日(土)にはまち大ジュリーでの桂さん、谷中さんによる修士論文の発表、2月4日(火)には博士課程の王さんの博士論文審査会が行われました。熱意のある発表を終えられた御三方から感想を伺いました！

まちづくり大学院 修士論文審査会



『連続する高架構造物の再整備により、上部に生まれる線形公共空間—その魅力づくりの可能性—』 桂 有生

正直、仕事をしながらの初論文にずいぶん戸惑いました。同級生が次々と修了、3回めのジュリーばかり3回受けて「これはまずい」と思うようになった頃、後から入って来た5期の方たちが論文ゼミを積極的に開催してくれたのにずいぶん助けられました。であるのに最後の研究室会議を2回連続仕事で欠席、先生方をやきもきさせてしまったと思います。最終ジュリーは生まれて初めて原稿を用意してプレゼンしました。現在、最終提出に向け作業中ですが、西村先生、窪田先生をはじめ、助教のみなさま、まち大研究室メンバー、調査にご協力頂いたみなさまに感謝しております。加えて出産・育児の時期に随分自由にさせてもらった方にも密かに感謝です。

顕微鏡観察から都市・人の視点へ

『植民地期の近代化産業遺産群の変容と価値保全に関する研究—台湾・旧台南州における近代製糖業関連遺産を中心に—』

王 新衡

本論文は台湾の植民地統治を美化せず、産業・地域近代化の歴史と産業遺産保全の真正性を保護するため、適当な視点から日本統治時代の近代化の功績・地域への影響と、近年の植民地期遺産の保全策の独自性を分析しています。博士論文の完成を迎えられたのは、西村先生のご指導の賜物であり、大変感謝致します。先生には長年に亘る台湾の都市・文化財についてのご関心の中でご指導頂きましたことに、人生最高の感動を感じます。また、窪田先生には、母親のような励ましや慰めの言葉のみならず、研究の方向・論文構造について助言を頂きました。黒瀬先生には、都市計画学会で連名発表して頂き、研究のノウハウと説明の方法などをご教授頂きました。中島伸先生には、論文の構造、方法論、研究のロジックに関するアドバイスを頂きました。先生方の貴重な助言に心から感謝致します。約6年前、私は都市デザイン研究室に留学するため、故宮の保全科学実験室の仕事を辞めて東大に入りました。顕微鏡を介した文化財の調査ではなく、広大な都市の視点から文化財の特徴を研究する機会を頂いたことに感謝致します。これからもこの初心を忘れないように台湾の文化財保全を頑張ります。



▲住民主導による製糖鉄道網の保全運動の様子



『過疎集落における移住者および二地域居住車の受け入れに関する研究—岐阜県群上市の石徹白地区を事例として—』 谷中 修吾

自身が現場で取り組んだ山村地域再生プロジェクトを題材として論文にまとめる機会をいただきまして深く感謝しております。地域づくりは、研究より現場が先になるのが常だと思います。だからこそ、現場最前線に身を置いて、現実を作り上げていくことが最大の面白味となります。一方、地域づくりに取り組む全国の集落にもインパクトを出していくためには、現場の成果を体系化して伝えることが必要です。その意味において、研究というアプローチで論文としてまとめることの意義を強く体感することができました。今後も、実務と研究の両輪をもって取り組んでいきたいと思ひます。西村先生、窪田先生、研究室の皆様のご指導に厚く御礼申し上げます。



▲発表後の質疑応答に臨む王さん



▲審査の先生方も真剣な面持ち

"留学生コーナー第26弾！"

An Essay by International Student Vol.26

Life through the streets - Shimokitazawa and Houhai -

D1 徐妍

If you travelled, there might be several unforgettable spots staying in the brain. But if you lived there, some places might be parts of your daily life and it would never make you bored or upset.

My dorm is just in the middle of two famous shopping areas in Tokyo, shibuya and shimokitazawa. In general, I would pass by shibuya 4 days a week as it's on my way to the campus, while shimokitazawa is on the other direction which is not as convenient as the former one. But I found that I would walk to shimokitazawa per week but may not get out of the shibuya station. In fact, when transport takes us and the goods anywhere, shopping is not only for buying something but also a break out of the intensive life. So someone enjoy the latest trend in Shibuya and I prefer the small shops growing along the streets and decorated into any styles as to their own characters.

Houhai, in the central area in Beijing, is a place worth one hour transporting to get there. In fact, it's also a place worth a second time or more. Houhai has two wonderful faces, day and night. It's a very peaceful place with lake and bridge. The streets and houses are almost remaining the old pattern as Qing Dynasty. There are hundreds of shops selling the handmade works and food which were generally named after Old Beijing, like cloth shoes, Cheongsam, snacks, etc. When the night comes, the bars around the lake light on and the young people influx.

You can enjoy the beer and the newest music show here.

The two attractive places may share something in common. Diverse, easy switching and soothing space (with fresh air). Long-term prosperity and diversity of choice seems to be complementary. Both of the two place provide us shops, dishes and some more (games in S and music shows in H). Even if some formats are naturally eliminated, but the sporadic metabolism, will not waver flourished throughout the region. And each shop provides some special atmosphere, which can be very hard for the shops in a big department. Taking a break whenever you want is easier on the street than the department wherever you're is still just some shops' area, which makes you hurry.



▲ Shimokitazawa



▲ Houhai



清水みなと散歩デラックス開催！

"Shimizu Minato Sanpo DX" was Held !

清水 PJ では、「富士山の日」に合わせ、清水の魅力を発信するイベントが開催されました。 text_douki



▲石蔵マップカフェとシーザブ富士



▲船上ガイドをする M1 望月



▲共通アイコンのマップとシーザブ

富士山の日、2月23日(日)に「清水みなと散歩デラックス」のため、黒瀬助教、出口研特任研究員遠藤、M2 越村、萩原、M1 道喜、新領域創成科学研究科 M1 望月が清水を訪問しました。

昨年10月に雨で規模を縮小した社会実験「清水みなと散歩」のリベンジとして挑んだ今回のイベントでは、三保も含めた清水港周辺で活動する団体が一齐に企画を開催し、地域の魅力を発信しました。各企画や交通機関の情報を盛り込んだマップと「シーザブ」(断熱材をシートで巻いて、アクセサリや座布団などに利用できるもの)が共通のアイコンとして利用され、各企画がー

体となりました。

東大チームは、イベント準備期間には横浜国立大学の志村准教授や茨城大学の一ノ瀬助教らと共に、各団体のつなぎ役となり、参加団体の募集や会議のセッティング、地図制作の企画提案などを行いました。また、当日には石野源七商店さんで行われた石蔵マップカフェでの清水港の都市形成史をまとめたパネル展示や、海からの視点で清水港を紹介する船上ガイドも行いました。終日天候に恵まれ、地元関係者同士の接点を増やすことができた実りあるイベントになりました。

✧ 編集後記

柏原 葉那

修論審査会が終わった1週間後には一人暮らしを引き払い、千葉の成田にある実家で生活しています。普段「成田は東京圏だから！」と言い張っている私ですが、いざ通うとやっぱり東京は遠い。成田は全然東京じゃない(笑)。気温はいつも2度くらい低いし、電車は40分に1本、野生の兎や亀や狸がひよこひよこ...最後の編集後記なのに地元の愚痴ばかり並べてしまいました。それでも成田ラブです。東京に戻るまでの1ヶ月半、最後の(?)成田生活を満喫します。

2・3月の予定

2月28日	佐原 PJ 高校生ヒアリング体験
3月17日~19日	大槌 PJ 三重・和歌山調査
3月24日	学位記授与式 / 追い出しコンパ
3月25日	学部生 卒業式

Information